

平成 29年度

## 東女10月号

もうすぐ運動会。園庭には、子供たちの歓声と仲間と走り回る姿があふれています。各学年、遊びの中から興味関心のあるテーマを膨らませ、何回も繰り返し取り組みながら、競技を作り上げてきました。

年少組は、同じテントウムシのリュックを背負って、友達と一緒に走り回ることが楽しくて仕方のない様子です。

年中組は、小人の世界に入り込み、キノコの帽子をかぶって同じイメージを楽しみながら小人ごっこを楽しんでいます。

年長組は、競技に取り組みながら仲間と作戦を考えたり、目標をもって繰り返し取り組んでいます。

どの学年も、運動会に向けて活動しながら、さらに仲間とのつながりを深めています。

### 年 少

子どもたちは、園庭で先生の差し出すイメージのなかで、先生やお友達と一緒に心地よいと思う姿が出てきました。テントウムシのリュックに、ペットボトルのふたのスタンプで、模様をつけると「ブーン」とすぐに、テントウムシになったつもりで、園庭を走り回ったり、段ボールのトンネルをくぐったり、お友達と、むしむしパティーと言って、おままごとを、楽しんでいます。遊戯の曲をかけるとどこからともなく集まってきて、一緒に踊ることを楽しんでいます。初めての運動会で、大勢の観客に、びっくりする子もいると思いますが、年少で楽しんできた虫の世界を、感じていただけたらと思います。

暑さが戻ってきて、園庭にはまだ本物のカマキリやコオロギ、テントウムシなどが見られます。子供たちは、見つけた虫を虫かごに入れ、『僕が持つ！』『僕が見つけたんだ！』と取り合いになってしまいました。「困ったね。一匹しかいないからね。」という先生のつぶやきに、「そうだ。もっとさがしにいこう」「そうしよう」とにっこり。一緒に虫探しが再開しました。楽しさや気持ちの違う経験をしながら笑い合ったり怒ったりして友達と一緒に生活することがわかってきた姿です。

子どもたちは、自分の思いも出そうとする姿が出てきましたが、まだまだ、気持ちが一方通行です。「ダメ」「嫌い」と言ってみたり、言葉よりも、咄嗟に手が出てしまうこともあります。そんな時には、両者の気持ちを、聞き出したり、伝えたり、相手にも気持ちがあることに、気付ければと思います。

運動会後は、年中さんや年長さんの衣装や道具を借りたり、踊りを教えてもらいながら運動会ごっこがはじまるでしょう。走ったり、体を動かすことも、大分思い通りに、できるようになってきたので、表園庭にも、遊びに行きながら、新しい遊具でもルールを伝えながら遊びます。

### 今月の目標

年少組 ・共通のイメージの中で友だちと関わって遊ぶ

年中組 ・仲間との遊びの中で、互いに気持ちを伝え合い、相手の気持ちを感じていく

年長組 ・仲間の中で一人一人が自分の考えや思いを充分に発揮する  
・友だちと協力する体験を通し、認め合う気持ちをもつ

### 今月のやくそく

・ハンカチ、ティッシュを必ずポケットに入れましょう

### 年 中

年中は、「指折り数えて待っていた～♪」と歌を歌いながら当日を楽しみにしています。

2学期になり、友達が片付けの時にしていないと「もう片付けなないとご飯に間に合わないよ」と伝えるようになりました。同じ形の武器をブロックで作リ、遊びが長続きするようになりました。そこで、運動会では二人で力を合わせる競技を取り入れました。二人で一緒に走ることは、初めはお互いのスピードが合わず、一人が先に行ってしまう姿も見られましたが、「一緒に行かないと森で迷子になっちゃう」「トロールや魔女につかまっちゃう」など、イメージを差し出すことで、友だちを待ったり、手助けしたり、「皆で完成させられたね」と友だちと一緒に同じ目標に向かってたのしむことや、協力するを感じています。

年中組は友だちとイメージを共有してお話の世界でごっこあそびをすることが楽しくなっています。園庭のあちこちで小人探しをしたり、小人になってお話の世界を楽しんでいる子どもたちです。遊びの中で小人からプレゼントがいくつも届きました。大きな森のキノコやトンネル、小人に変身できるキノコの帽子です。そのプレゼントを使って、探検ごっこをしたり、ゲームをしながら、運動会に向けて楽しんでいます。

走る姿も様になってきました。ずいぶんスピードも出てきて、一人が走り出すと「僕も」「私も」と競争が始まります。走るうちにだんだん自信がついてきて、友だちとの仲も深まってきたからこそ、衝突も目立ってきました。つい、「きらい」「あそばない」といつてしまうことがあります。よく思いを聞くと、自分の思う遊びと違ったとか、何も言わないで入ってきたなどの理由があります。相手が傷つく言葉とは気づかずに使ってしまったり、自分の思いはあるけれどどうまく伝えられなくて、咄嗟に手が出てしまったりという姿もあります。気が付いて仲裁に入ろうとする子もいますが、まだまだ両者が納得する解決は、子供だけではできないことが多いので、保育者が間に入り、互いに気持ちが言い合える機会を作りながら、一緒に解決する経験をしています。

### 今月の歌

年少組 てをたたきましよう

どんぐりころころ

年中組 うちゅうせんのうた  
はたけのポルカ

年長組 ハッピーチルドレン

### 年 長

運動会に向けて、クラスでリレーやタイヤ引きの作戦を考えたり、跳び箱が飛び越せると、子どもたちの気持ちもさらに盛り上がってきています。

繰り返し取り組んでいるタイヤ引きは、どのクラスも各クラス2チームのうちいつも1チームが勝ち、1チームが負けで、引き分けです。どうしたら両方勝てるか、作戦を考えています。「すぐにタイヤのところに走っていけば早く引っ張れるよ。！」「両手でつかんだほうが力が入ると思う！」等、友だちと一緒にアイデアを出しあっています。リレーでは、はじめは「ぼくは一番に走りたいたい！」「アンカーがいい！」と、自分のやりたい順番を主張するばかりでした。しかし、だんだんと自分だけの力では勝てないことに気づいていき、「走るのが得意な人を前の方の順にしよう」「バトンの受け渡ししが上手な人を見て真似てみよう」とチームとして、どうしたらうまくバトンを繋いで走っていけるかを考えていくようになりました。

運動会の表現あそびは「宇宙」です。一学期から布を使った表現遊びをしていました。布を渡すと「流れ星が光っているんだよ。」と布を動かしてみたり、友だちと大きな布を上下にさせて天の川を表現してみる姿がありました。宇宙にとっても関心を持っていた子どもたちは、「宇宙人って本当にいるのかな。」「宇宙人は火星に住んでいて足がたくさんあるんだよ！」「くいしんぼうの宇宙人もいるかもしれない。」と様々に想像を広げています。「宇宙にはブラックホールがあるんだ！」と、友だちと一緒にブラックホールをつくっています。手をつないで大きな円を作り、「渦になってるから、真ん中の人ぐるぐる回ろう！」「最初は小さくて、でもだんだん大きなブラックホールにしようよ！」と、友だちとアイデアを出しながら、どんどんイメージを膨らませていきます。子どもたちの想像力、表現力には毎回驚かされます。運動会でたくさんの人に見てもらうことをとても楽しみにしています。

10月には芋ほり遠足に行ってきます。当日は子どもたちと先生だけで電車に乗り、重い芋を自分で持って帰ってきます。「どの駅で降りるんだろう！」とみんなに電車に乗ることを伝え、調べて意識していきます。姉妹園の狭山ヶ丘幼稚園にも立ちよります。「狭山ヶ丘幼稚園ってどんなところなんだろう！」と楽しみにしながら、秋の自然を満喫したいと思います。



